

平成26年 第1回教育委員会 会議録

日 時	平成26年1月29日（水） 午後2時40分～3時30分
場 所	第4向陽小学校 会議室
出席委員	前田委員長、雨宮委員、白幡委員、松本委員、奥野教育長
欠席委員	なし
事務局	教育部長、次長兼教育総務課長、次長兼学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課担当課長、学校教育課主幹、教育総務課主査
議 題	委員会諸報告
傍 聴 者	1人
委員長	開会宣言
委員長	本日は議案がないが、まず教育長に対する事務委任規則に基づく「向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について」の報告を願う。
事務局	<p>— 向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について —</p> <p>○ 趣旨</p> <p>病気休暇及び特別休暇に関わる京都府立学校教職員服務規程の改正に伴い、向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する。</p> <p>○ 改正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核性疾患に係る病気休暇の承認期間を「1年の範囲内で必要と認める期間」から「180日の範囲内で必要と認める期間」に改正。 ・父母の祭日に係る特別休暇の承認期間を「慣習上最小限度必要と認められる期間」から「1日以内でその都度必要と認められる期間」に改正。 ・夏季休暇の承認期間を1年について7月から9月の間の4日以内でその都度必要と認める期間としていたが、「4日」から「5日」に改正。 <p>【質疑等】</p>

委員	祭日の中身はどのようなものか。
事務局	法事、法要等である。
委員長	他に質問等がなければ、「教育長に対する事務委任規則第5条」により、その承認についてはかる。 (全員異議なし)
委員長	異議がないので、「向日市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について」を承認する。
委員長	次に委員会諸報告を願う。
事務局	— 平成26年度新入生通学区域弾力化制度実施結果について — ・届出期間 平成25年12月2日(月)～12月13日(金) ・届出児童生徒数 (小学校) 希望校制度 45名(前年比 8名増) (中学校) 調整区域制度 24名(前年比 2名増) 部活動制度 16名(前年比 2名増) 希望校制度 28名(前年比 8名増) 希望校制度については、届出者数が最も多い学校でも定員程度であったため、抽選にはならなかった。 【質疑等】
委員	仮に希望校制度の利用によって、クラス数の増減に影響がでる場合でも、人数の調整はしないのか。
事務局	クラス数の増減についての調整はしていない。ただ、教室が足りなくなるといったような場合については、検討が必要であると考えている。
委員長	次の報告について説明願う。

事務局	<p>— 平成26年度向日市指導の重点の改訂方針について — (別添資料③に基づき説明)</p> <p>【質疑等 (学校教育)】</p>
委員	<p>地域の人材や大学生等の活用による学力向上の取組はとてもよいことである。学ぶ側だけでなく、教える側にとっても充実感や喜びを感じることができ、よい効果があると思う。是非推進していただきたい。 大学との連携とあるが、具体的にはどのような内容か。</p>
事務局	<p>実際にこの1月にいじめ等の未然防止を目的とした予防教育を研究されている大学と連携した取組を行った。まず、大学の研究者に授業をしていただき、現場の教員がそれを見て学び、実際に行っていくというものである。</p>
教育長	<p>以前にもメディアに取り上げられた実践であり、子どもに自信を持たせる授業である。今回は府の事業として実施されたものであるが、府内の学校からの希望が多い中、市内の小中学校で実践していただくことができた。 これまでに予防教育を取り組まれた先進地から非常によい効果をあげていると聞いており、2月には視察も計画している。本市においても今後取組を進めて行きたい。</p>
委員	<p>教職員の資質能力の向上について、研修は教職員が一方的に受けるものでなく、先生方からも様々な意見を聞いていただいた上で行ってもらえれば教職員一人一人の意欲も向上していくと考える。</p>
教育長	<p>市としても、先生方に自主的に学んでいただけるような研修を考えていきたい。また、学校からも希望を聞いて進めて行きたい。</p>
委員	<p>基礎学力の充実に関わる「ふりスタ」「中2学力アップ」事業についてお聞きしたい。</p>
事務局	<p>基礎学力の定着に課題のある生徒を放課後などに集めて、学習支援員が学力補充を行うという取組である。</p>
委員	<p>中学2年生は学習面においてつまずきやすい時期であると思うが、こうした時期にこのような施策が行われることは大変重要なことである。</p>

<p>教育長</p>	<p>現在、高校生にはボランティアとして通学路の見守りをさせていただいているが、今後は小学生への学習支援等でもお世話になれないかと考えている。また、本市の中学校で「ふるさと学習」を学んできている高校生もいるので、文化資料館等での取組にボランティアとして関わっていただくなど、高校生にとってもふるさと向日市への理解や愛着を深めてもらえるようなことはできないかと考えている。</p> <p style="text-align: center;">【質疑等（社会教育）】</p>
<p>委員</p>	<p>学校と地域の積極的な交流がよく新聞等で掲載されているが、より多くの学校で地域社会の力を活用した事業に取り組んでもらいたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>地域からの支援により、各学校がそれぞれの分野で一生懸命取り組んでいる。今後、学校支援地域本部事業を拡充していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>市の歴史や史跡等を照会したDVDは、どの程度学校で活用しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「ふるさと学習」の時間に、DVDを見てから実際に見学に行ったり、見学した後にDVDを見て内容を深めるなど活用している。</p>
<p>委員長</p>	<p>閉会宣言</p>